

キャラクター名	プレイヤー名
クロエ・ハラガン	

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	セージ	Lv.1:	メイジ	性別	レディーなのヨ
称号クラス				年齢	ピチピチのアラサー
種族	ドゥアン(有翼族)			境遇	出世
出自(効果)	狩人			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	8	8	15	11	13	7
ボーナス	4	2	2	5	3	4	2
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1
他修正							
能力値	4	2	2	7	5	5	3

HP	48
MP	72
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	マジックスタッフS1	至近	-1	2	0	0	0	0	0
左手									
頭部	メイジハットS1					2			
胸部	メイジローブ					3			
補助	虹色の指輪						1		-1
装身具	グリモア								
能力値			2	0	2	0	5	7	9
スキル									
その他									
総計(右)			1	2					
総計(左)					2	5	6	7	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	7			7	+ 2 d
アイテム鑑定	7			7	+ 2 d
魔術判定	7	+1D	1	8	+ 3 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
MPポーション8	
ベルトポーチ	
バックパック	
ポーションホルダー	
売却/消費分	
HHPポーション	

現在重量:	9	所持金:	15767	預金・借金:	
最大重量:	19				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ウイング	★	-	move	-	自身	自動		
効果:	天翼族、飛行状態になる。シーン終了まで持続する							
マジシャンズマイト	4	-	P	-	自身	自動		
効果:	魔法攻撃+SLD。							
コンセントレイション	★		P		自身			
効果:	魔術判定+1D。							
マジックフォージ	3	3	DRb		自身	自動成功	シーン1	
効果:	魔法攻撃+[(SL×2)D]。							
ファイアーボルト	1	6	M	20m	単体	魔術		
効果:	魔法攻撃+[10+2D]。							
ファイアーロード	3		P		自身			
効果:	魔法攻撃+[SL×4]<火>属性							
リゼントメント	★	-	効果	-	自身	自動		
効果:	命中前に宣言、魔法攻撃+CL*10							
ブーストマジック	★	5	m	-	自身	自動		
効果:	魔法攻撃+DMG感知							
マジックブラスト	1	3	move	-	自身	自動		
効果:	分類:魔術を範囲に(SL*2)							
トレジャーマニア	★		効果参照	視界	単体	自動	シーン1	
効果:	対象が行なうドロップ品決定ロールに+1Dする。							
マジックノウリッジ	1		パッシブ		自身			
効果:	魔術に関する事柄の判定+1D							
フェイス:グランアイン	1		パッシブ		自身			
効果:	ダメージ+2							
マジックスピナーI	1	F1	イニシアチブ		自身	自動		
効果:	マジックフォージ+1する							
インテンション	1		パッシブ		自身			
効果:	MPを+CL							
アイデンティファイ	1		パッシブ		自身			
効果:	アイテム鑑定+1D							

CL1 マジシャンズマイト1/ファイアーロード1/ファイアーボルト1/マジックフォージ2  
 CL2リビルドチケット使用  
 不死鳥の祝福を受ける

かつてクロエは魔法使いの師匠に師事していた。ピトゥーラは兄弟子である。よくクロエの失敗の身代わりとして師匠に怒られてきていた。ただ一つピトゥーラはエリオンと世界をつなぐ研究をしていたようだが、周囲からは理解されていなかった。クロエ自身もピトゥーラを変わり者だと思っていたが、悩みごとを聞いてるとタダ飯にありつきたためむむむと聞き流していた。そしてイラだつピトゥーラは突然姿を消した。タダ飯が食えなくなったと悲しくなったが、死ぬようなたまでないだろうと心配はしていなかった。飯代を稼ぐため冒険者となった今、ピトゥーラと再開することになった。

クロエは腹黒い性格である。本人も幼少期から自覚しており、楽しく生きる方法がないかと常日ごろから考えていた。ドゥアンといえど筋骨隆々、周りの友達みんな騎士や戦士になりたがっていたが、中でも線の細いクロエは「体使うとか絶対無理ネ！前衛とか全然楽できないヨ！」と思っていたため、神官を目指そうと考えていた。しかし、ある日街の雑貨屋で店主と立ち話していたら後の魔法の師があらわれ話を聞くこととなる。魔法職が周りにいなかったこともありクロエは飲み屋に連れ出して酒を奢ると話を聞き出すことにした。師匠は魔法がいかに危険で習得に時間がかかり、また秀でた精神力が必要であるとクロエに話したが、「あ、やっぱり体使わないの力！え、前がめっちゃ守ってくれん？！」と都合のいい部分だけを吸収し、メイジになることを決意した。師匠のもとで修行を始めたら魔術にはまり込み、魔術の粋を極めたいと思うように。意外と負けず嫌い。

神官になろうと思っていたため白を基調とした服しかなくまた面倒くさがりなため、今も来ているので神官と間違われることもしばしば。最近不死鳥に出会う。やっぱり火の魔法が得意なせいかしら？それとも私がドゥアンだからなの？まあ、便利よネー。とても気に入られた気がするのよネ。でも、そのせいか火や風属性の敵に攻撃する気が起きなくなった気がするのよネ…

「冬季アランピック」クリア後  
 同じギルドのトモっていう、同じメイジの仲間にアランピックはすごく楽しくて、お金までもらえるって言うから来てみたらどうヨ！控室は盗人がいるし、最後にはあんなに頑張った私のメダルを狙うやつまでいる始末！あの女、たしかルカって言ったかしら…もっとしっかりするべきヨネ！！マツカ！…まあ、で

